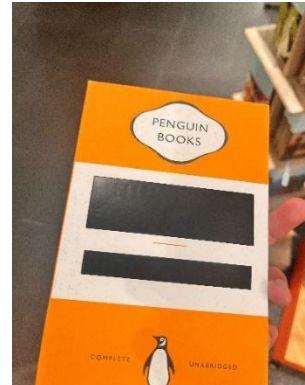
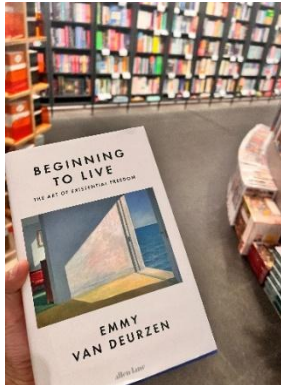


留学だより No. 6



こんにちは、メルボルンに滞在中の17期の富士です。何も考えずに色々なことを楽しむ余裕を持つ意味での「バカ」になる必要性を感じて生きています。

最近は目新しいこともなく、自分の好きなように生活しているので、日常の一部をお伝えできたらと思います。



【読書】

最初は真面目に書こうということで本についてです。

留学をしていて英語や友達との遊びばかりに目を向けていると、心が震える体験のなさに気づかれます。そこで小説を読み始めました。といってもたいていは日本の小説ですが。

「銀河鉄道の夜」にどれだけお世話になったことでしょうか。夜になってもなかなか寝つくことができないと思ったら「銀河鉄道の夜」を読みます。電車乗っていて暇だったら「銀河鉄道の夜」を読みます。何回読んだかは数えられません。読むたびに心が洗われて、宮沢賢治の心象世界に閉じ込められそうになります。

この本以外にも哲学書はよく読みます。図書館にたまたまあった哲学をわかりやすく解説している文庫本を読んでとてもハマりました。

英語の本でいうと、「華氏 451 度」、「アンドロイドは電気羊の夢を見るか?」、「1984」、「動物農場」「るつぼ」を読んでいます。「1984」や「動物農場」などは日本語の翻訳書を読んだことはありますが、やはり英語で読む方が回りくどい表現が少なく、スムーズに読める感じがあります。どれも難解書なので、挫折をしてはちょっと時間あけて再挑戦の繰り返しです。



【ランニング】

ほとんど毎日、走っています。30分ぐらい走って、ゲームがしなくなって家に帰るという具合です。今までは「マラソンのために頑張るぞ!」や「5キロをこの時間内に走り切るぞ!」などと熱量多くやっていましたが、今は完全に気が抜けています。でも今の方が断然に良いです。毎日歯磨きするのと同じ感覚で毎日走れています。腹が痛い、足が痛いなどたまにありますが、なんやかんや走ることに关してはいい思い出しかありません。小石川に2か月後に戻りますが、かなり忙しい生活が待っていると思います。そうした中でランニングする時間をしっかり毎日とれるかに自分の真価が問われているため、頑張りたいと思います。この文を読んでいる小石川生はもう一度、「勉強と行事、友達関係と部活と趣味を両立させること」がいかに凄いか再認識した方がよいと思います。

今回は2つ挙げましたが、この他にもゲーム、筋トレ、ギター、(たまに)サーフィン、ダンス、料理など自分の好きなことばかりして悠々自適に暮らしています。勉強をして将来のために備えないと、いい大学に入らないと、といった恐怖から一歩身を引き「バカ」になることも大切なのではないのでしょうか。「旅人として生きていくんだ!」と意気込んでいるこんな僕でも幸せに生きていけているので案外人生って楽なものなんですね。肩の力を抜いてあまりにも楽しいこの世界をもっと味わってみたいかがでしようか。

17期 富士

